

＊ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ＊  
～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

#### 第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の概要

平成30年4月に文部科学省は、「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を  
発表しました。この概要では、子供の読書活動を次のように分析しています。学校では、  
学校の実態に応じた次年度の読書活動の推進計画を練ってほしいと思います。

- ①中学生までの読書習慣の形成が不十分
  - ②高校生になり読書の関心度合いの低下
  - ③スマートフォンの普及等による子供の読書環境への影響の可能性
- 今回の計画推進のための主な方策として次の2つのポイントを挙げています。
- ①発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成
  - ②友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高める
- そして、学校等の取組<sup>※1</sup>では、次のように挙げています。

##### 【幼稚園・保育園等】

- ◆幼稚園教育要領・保育所保育指針等に基づき、絵本や物語に親しむ活動の充実と  
環境の整備

##### 【小学校、中学校、高等学校等】

- ◆学習指導要領を踏まえた読書活動の推進
  - ・児童生徒の主体的、意欲的な読書活動の充実（学校図書館の計画的な利活用）
  - ・障害のある子供の読書活動の促進
- ◆読書習慣の形成、読書の機会の確保
  - 全校一斉の読書活動、卒業までの読書目標の設定、子供による図書紹介 等

##### 【学校図書館の整備・充実】

- ・学校図書館図書整備等5か年計画の推進<sup>※2</sup>
- ・学校図書館図書標準の達成<sup>※3</sup>
- ・情報化の推進
- ・司書教諭・学校司書等の人的配置促進

また、子供の読書への関心を高める取組では、次のように挙げています。

- ◆友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組
  - 読書会、図書委員、「子ども司書」、ブックトーク、書評合戦（ビブリオバトル）  
等

※1 「学校等」以外、「家庭」「地域」の取組も挙げています。

※2 この計画の目的は、平成29年度からの5か年で学校図書館図書標準の達成を旨すとともに、  
計画的な図書の更新、学校図書館への新聞配備と学校司書の配置拡充を図ることにあります。

※3 公立の義務教育学校の学校図書館に、整備すべき蔵書の標準として文部科学省が定めたもの。

# Hello! 学校図書館

## 《弥永西小学校》 その1



今年度も、福岡市内の小中学校，特別支援学校を訪問し，図書館の様子などを紹介していきます。学校の図書館の運営や環境づくりなどの参考になればと思います。

弥永西小学校は，15学級433名の学校です。絵本をすぐ読め，本を手に取りたくなるような配架の工夫をしています。また，本を見つけやすくする表示や校長先生のおすすめ本の紹介をして本への関心を高めることをしているすばらしい図書館です。

### ○ 選んだ絵本をすぐ読めるような配架の工夫

図書館カウンターの横には，まわりを絵本で囲まれた絵本コーナーがあり，選んだ絵本をすぐに座って読めるように敷物が敷いてあります。



(窓際の書架の上に，絵本の表紙が見えるように配架)



(布をかけた丸テーブルの上に表紙が見えるように配架)



(座って読める絵本コーナー)



(書架の中に，絵本の表紙が見えるように配架)

### ○ 校長先生のおすすめ本の紹介をして本への関心を高める工夫

校長先生のおすすめ本と一緒に，本の紹介文と校長先生の顔写真を展示しています。



(書架の上に配架された校長先生のおすすめ本と紹介文)

○ 本を手に取りたくなるような配架の工夫

書架の空いたスペースを使い、本の表紙が見えるような配架をしています。



(図書館の横の書架に表紙が見えるように配架された本)



(「クジラの海の冒険」の本を表紙が見えるように配架)



(図書館の後ろの書架に配架された本)



(ボランティアが読み聞かせで使った本を表紙が見えるように配架)

○ 本を見つけやすくする表示の工夫

目的に応じた本を見つけやすくするために、本の分類ごとに表示の台紙の色を変えたり、大きくしたりしています。また、差し込みの色を変えたり、2桁分類をしたりしています。



(窓際の書架につけられた表示)



(6類と7類で色を変えた低い書架の上の表示)



(後ろ書架の表示)



(うぐいす色の差し込みに、4類を昆虫の種類ごと2桁分類して配架)



(水色の差し込みに、6類を主な産業ごと2桁分類して配架)



(ピンク色の差し込みに、8類の文学を「記号」「ことわざ」など、2桁分類して配架)



(クリーム色の表示板に「外国文学」と表示し、作者ごとに分類して配架)

## 12月生まれの文学者



### 武田 美穂（たけだ みほ）と「ますだくとまいごのみほちゃん」

東京都 1959年12月28日 生まれ

1986年「あしたえんそく」で作家デビューした武田氏の小さい頃は、家に絵本があまりなく、「岩波の子どもの本」シリーズなどを弟と一緒に読んだくらいでした。内気で、勉強なども不得手で、隣の席の男の子にビクビクするような女の子でしたが、絵を描くのが大好きで、幼稚園の頃から見よう見まねで紙芝居をつくり、小学校ではよく絵を描いていました。

本格的に絵本と出会い絵本作家を目指すようになったのは、大学を中退してアルバイトで図書館の子ども室の担当になった時、毎日、絵本の読み聞かせをする中で、「絵本は自由度の高い表現媒体で、いろいろな可能性を秘めている。」と思えたからでした。

子どもの頃から少し放浪癖のあった武田氏は、小学校高学年になると、知らない町を歩き回って迷子になりそうになりました。この体験が「ますだくとまいごのみほちゃん」に反映されています。

武田氏は、絵本を通じて子どもたちに「明日はいいことあるよ」というメッセージを伝えていくことが子どもたちの生きる力となる、と知っているそうです。

絵本や挿絵以外にキャラクターデザインを手がける武田氏の作品は、「となりのせきのますだくん」（絵本にっぽん大賞，講談社出版文化賞絵本賞受賞）などあり、他の作家と一緒になっつくった作品も多くあります。



### 北村 薫（きたむら かおる）本名 宮本 和男と「空飛ぶ馬」

埼玉県 1949年12月28日 生まれ

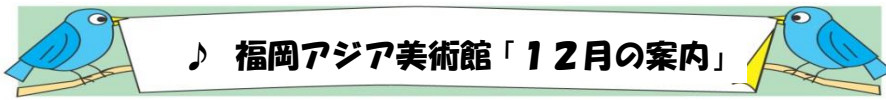
北村氏は、6歳の時、父親から買ってもらった「イソップ」の絵物語がおもしろく、子どもの頃は、物語の中に入り込んで本を読んでいた。県立春日部高校を卒業後、早稲田大学第一文学部に入学し、ワセダミステリクラブに所属しました。

大学卒業後、高校の国語の教師をしながら、1989年連絡がつかない覆面作家として「空飛ぶ馬」でデビューしました。覆面作家としたのは、他社から原稿依頼がきても応じきれず断ると、「新人なのに生意気なやつだ。」といわれるかもしれないと思ったからだそうです。

「空飛ぶ馬」は、東京創元社が新しい創作ミステリのシリーズを立ち上げることになり、編集者から「おまえも1本書け」と言われ、ひと月に一遍ずつ書いていき出来たのが、このデビュー作です。

いい本格ミステリ作品は2回楽しめ、作家の力量や技術が問われると、北村氏は言っています。それは、トリックやストーリーがわかって読んでも作品を楽しめ、犯人がわかった2回目のほうが作品の細部に目が届くからだそうです。

北村氏の作品は、「夜の蟬」（日本推理作家協会賞受賞）、「ニッポン硬貨の謎」（本格ミステリ大賞受賞）、「鷲と雪」（直木賞受賞）などあります。



## 福岡アジア美術館「12月の案内」

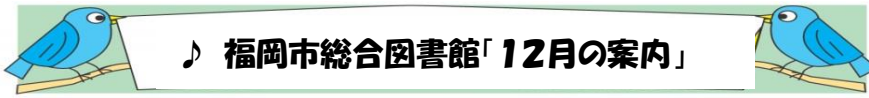
\*\*\*\*\*



### \*アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ：（12月）

9日（日），11日（火），23日（日），25日（火）

- ・時間 11：30～12：00，13：00～13：30
- ・場所 7階「キッズコーナー」（申し込み不要）



## 福岡市総合図書館「12月の案内」

\*\*\*\*\*



### \*毎月のおはなし会

1日（土），2日（日），8日（土），9日（日）

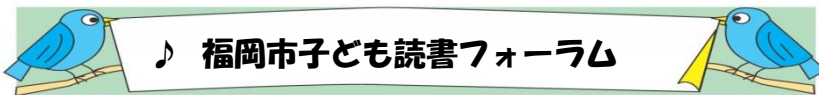
15日（土），16日（日），22日（土）

- ・時間 土曜日：1日，8日，15日
  - 14：10～14：25 赤ちゃん向けおはなし会
  - 14：30～14：50 幼児向けおはなし会
- 22日
  - 14：30～15：00 幼児から小学生向けおはなし会
- 日曜日：2日，9日，16日
  - 14：30～15：00 幼児向けおはなし会
  - 15：15～15：45 小学生向けおはなし会

- ・場所 「こども図書館 おはなしの家」

### \*クリスマス特別おはなし会

- ・日時 23日（日） 14：00～15：10
- ・場所 第1会議室（3階），第2会議室（3階）



## 福岡市子ども読書フォーラム

おはなし会や読み聞かせだけでなく，科学工作，ビブリオバトルなどの催し，POPの掲示があります。また，福岡市教育委員会キャラクターのスタンバードも来場予定です。

- ・日時 平成30年12月8日（土） 11：00～16：00
- ・場所 福岡市男女共同参画推進センター「アミカス」

（福岡市南区高宮3-3-1 西鉄天神大牟田線「高宮駅」西口すぐ）

※「福岡市子ども読書フォーラム」は，子どもが本に親しみ，自ら進んで読書できるような環境づくりを推進する一環として，平成17年度から毎年実施されています。

### 《昨年度の様子》



（小学生が作成したPOPの展示）



（中学生の読み聞かせ）



（高校生の音楽劇）



（来場したスタンバード）

## □ 図書館員のひみつの本棚 《No.151》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが、昨年度に引き続き毎月素敵な本を紹介してくださる楽しいコーナーです。

今回の本は、哲学の本です。「ねこの好奇心」と「人間の好奇心」を比べたり、「宇宙人はいるか」「おいしいものとうつくしいもの」などについて書かれています。写真や挿絵が多く、とても読みやすい本です。

「なぜ勉強するのか」など、何か悩みなどがある人にとって、参考になる一冊だと思います。

### ☆ 今月の本

『なぜと問うのはなぜだろう』 ちくまプリマー新書  
吉田 夏彦 著／ ちくま書房 2017年 756円

### ☆ あとがき

12月8日の読書フォーラムでは、参加する小・中・高校をはじめ、読み聞かせ団体などが、来場者にたくさん楽しんでもらおうといろいろ準備をしています。昨年は、約630人が来場し、そのアンケートで、フォーラムの感想として、94%が「とてもよい」もしくは「よい」と回答しています。

おはなし会や体験工作、音楽劇だけでなく、今年は高校生と司書のビブリオバトルも実施されます。とても楽しいフォーラムですので、多くの来場者があることを期待しています。

発行：福岡市教育委員会 生涯学習課

電話：092-711-4655 FAX：092-733-5538

## 図書館員のひみつの本棚 第151回

今月は哲学の本です。

『なぜと問うのはなぜだろう』 ちくまプリマー新書  
吉田 夏彦／著 ちくま書房 2017年 756円

### <お勧め年齢>

乳幼児—— 低学年—— 中学年—— 高学年—— 中学生☆☆  
高校☆☆☆ — 一般☆☆

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

### <本の紹介>

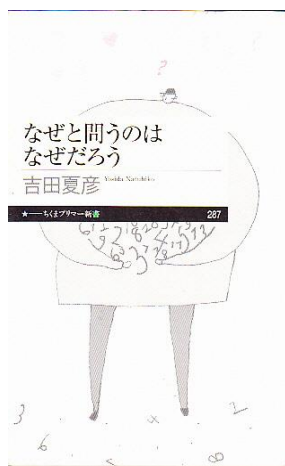
「哲学」という言葉を聞くと、何か難しいことのように感じませんか。では「科学」はどうでしょう。「科学」についてはいろいろと身近に感じることも多いのではないのでしょうか。じつはこの「哲学」と「科学」という言葉、英語では「フィロソフィー」と「サイエンス」になりますが、以前はそれほど区別されずに「学問」という意味で使われていたそうです。でも、もちろん違いもあります。それは科学には答えられる領域に限度があり、そのさきを考える学問が哲学なのだそうです。

この本は、1977年に小学生向けの哲学の本として執筆され、40年の時を経て復刊されました。学問とは何かをやさしく教えてくれます。

### <子どもに手渡す時のポイント>

大学で初めて現代哲学の講義を受け、担当教授の「学問とは人々の幸せを追求して発展してきた」という趣旨の話聞き、これまでの学校の勉強が人間の幸福に結びついていることに初めて気が付き、それ以来学ぶことが楽しくなりました。

「なんのために勉強しなければいけないのか。」という疑問を抱いている生徒に、ぜひ手渡してもらいたいと思っています。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。  
ぜひ手にとってみてください。